

2011年11月11日
山陽特殊製鋼株式会社
三井物産株式会社

インドにおける特殊鋼製造・販売事業の合弁契約を締結

山陽特殊製鋼株式会社（本社：兵庫県姫路市、社長：藤原信義、以下「山陽」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）は、インドのマヒンドラグループ傘下の特殊鋼メーカーであるマヒンドラ・ユージン・スチール社（以下「MUSCO 社」）と、インドにおいて中長期的に需要増加が見込まれている特殊鋼を製造・販売する合弁事業を行うことで合意し、本日、合弁契約を締結しました。

今後、MUSCO 社が特殊鋼事業部門を分離、MUSCO 社 100%子会社として新たに設立する準備会社（以下「新会社」）に事業譲渡を行い、その後、関係当局の認可等を条件として、山陽と三井物産が新会社の増資を引き受けます。

新興国の一角を占めるインドは、近年めざましい経済発展を遂げつつあり、国内の粗鋼生産量は年間8%の成長が期待されています。中でも、特殊鋼は好調な自動車産業等に牽引され、今後市場が大きく拡大すると予測されています。

山陽は、この合弁事業を契機に、インドの特殊鋼需要を捕捉することを通じ、新たな時代にふさわしい特殊鋼製造会社としての発展を期する次第です。

三井物産は、2005年にインドにおいて冷延鋼板・亜鉛鋼板の製造・加工事業に参画し、これを皮切りに同国で鉄鋼製品の製造・販売のバリューチェーン構築・強化を進めています。また、マヒンドラグループは自動車、トラクターの製造・販売を中核として様々な事業を多角展開しているインド有数の財閥で、三井物産は今回の合弁事業への参画を通じパートナーであるマヒンドラグループとの関係を強化し、今後の新たな事業展開を目指します。

合弁会社では、MUSCO 社が経営全般、山陽が生産・技術部門、三井物産がマーケティング部門を担当し、三社のブランド力と技術力及びネットワークを生かし、インド市場における需要家のニーズにお応えして参ります。

<合弁会社の概要>

事業内容	特殊鋼製品の製造・販売
主要設備	45t 電気炉、LF-VD、1200t 鍛造プレス、分塊圧延機、連続圧延機、素形材工場
工場敷地	65 エーカー（約 263,000 m ² ）
従業員数	約 800 人
出資比率	MUSCO 社 51%、山陽 29%、三井物産 20%
工場所在地	インド共和国マハラシュトラ州コポリ

<マヒンドラグループの概要>

旗艦企業	MAHINDRA AND MAHINDRA LIMITED（以下「M&M 社」） マヒンドラ・アンド・マヒンドラ・リミテッド
所在地	インド共和国マハラシュトラ州ムンバイ（M&M 社）
代表者	Anand Mahindra（M&M 社）(Managing Director) アナン・マヒンドラ
グループ会社数	約 110 社
事業領域	自動車、農業機械、金融、鉄鋼、貿易、インフラ、ホテル、情報産業、自動車部品

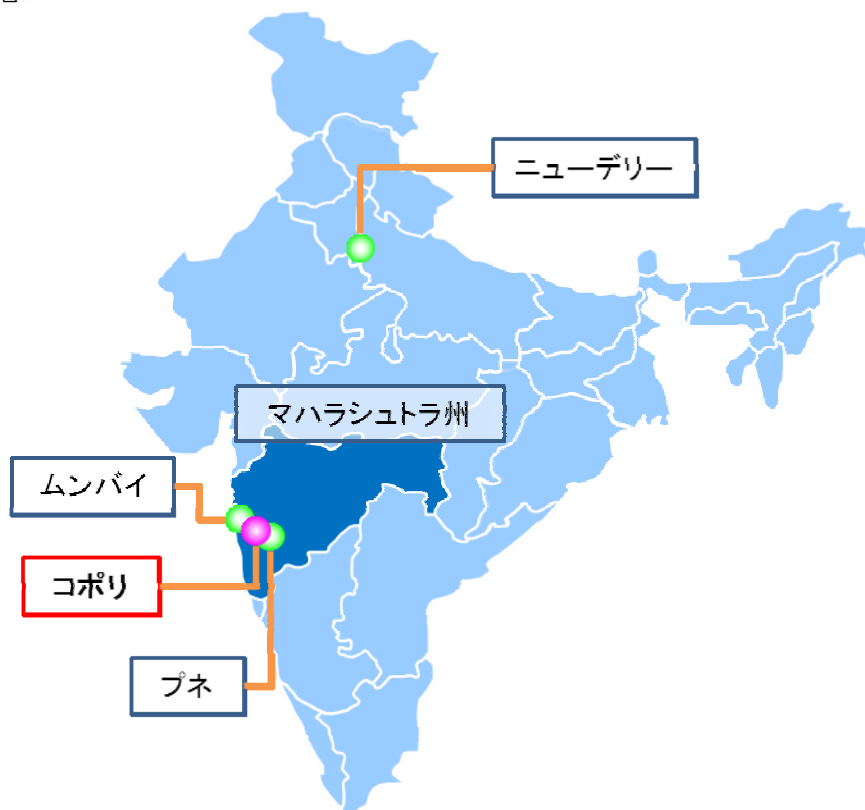
資本関係	ボンベイ証券取引所、ナショナル証券取引所、ルクセンブルク証券取引所、ロンドン証券取引所に上場
連結売上高	3,703 億ルピー (約 5,700 億円) (M&M 社)(2011 年 3 月期)
資本金	29 億ルピー (約 45 億円) (M&M 社) (2011 年 3 月期)
設立	1945 年

<MUSCO 社の概要>

会社名	MAHINDRA UGINE STEEL COMPANY LIMITED マヒンドラ・ユージン・スチール・カンパニー・リミテッド
所在地	インド共和国マハラシュトラ州ムンバイ
代表者	Uday Gupta (Managing Director) ウダイ・グプタ
従業員数	約 1,500 人
事業内容	特殊鋼製品の製造・販売及びスタンプング事業
資本関係	M&M 社出資比率 50.69% ボンベイ証券取引所及びナショナル証券取引所に上場。
売上高	134 億ルピー (約 200 億円) (2011 年 3 月期)
資本金	3.2 億ルピー (約 5 億円) (2011 年 3 月期)
設立	1962 年

(注) 特殊鋼事業部門を事業譲渡後、MUSCO 社にはスタンプング部門が残る予定。

<合併会社所在地>



(本件に関するお問い合わせ先)

山陽特殊製鋼株式会社 経営企画部 須多 079-235-6005
三井物産株式会社 広報部報道室 岡本 03-3285-6645